

平成28年 月 日

茂原市長 田中 豊彦 様

茂原市子ども・子育て審議会  
会長 中山 清志

茂原市子ども・子育て審議会条例第2条の規定による諮問について（答申）

平成27年12月16日付け茂福字第298号により諮問のあった「茂原市の公立保育所・幼稚園の今後の在り方について」を下記のとおり答申いたします。

#### 記

#### 【現状】

- ・少子高齢化の進行に伴い、公立保育所・幼稚園の利用者数は年々減少傾向にあり、将来も減少していくことが予測される。
- ・施設の大半が昭和40年代後半から昭和50年代にかけて整備されたもので、老朽化による施設の大規模改修や建て替えに要する費用が集中的に嵩む事が想定される。

#### 【課題】

- ・子どもの健やかな成長・豊かな人間性を育むためには、適正な規模の集団の中で関係を築くことが望ましい。
- ・施設面における子どもたちの安全・安心を確保する必要がある。

#### 【今後の在り方】

- ・施設の統廃合を早急に進めるべきである。
- ・新たに整備する施設は、民間活力を活用しながら、国が推奨している幼児期からの教育・保育を総合的に提供する「認定こども園」とし、定員200人前後の質の良い教育・保育を目指すべきである。
- ・施設の統廃合や整備にあたっては、特定の児童の預かりや地理的要因を十分考慮する必要がある。